

令和4年度

事業計画書

一般財団法人 京都市都市整備公社

I 事業運営方針

令和3年度も新型コロナウイルス感染症による影響が続き公社においても厳しい経営の中、積極的な経費削減の実施と安定した収益確保を行ってまいりました。

令和4年度におきましてもいまだ続く新型コロナウイルス感染症の影響も鑑み、指定管理駐車場や排水機事業の安定した管理受託料収入が経営上貢献するため、令和3年度公募により受託した交野市自転車駐車場と同様に受託料収入での管理駐車場を積極的に受託していきたいと考えています。

また、コインパーキング「くるっとパーク」につきましては閉鎖した駐車場の機器を有効活用し、収益率の高い駐車場開設を図ってまいります。

以上のように事業の収益改善を進めていきたいと考え、令和4年度の経常収益につきましては、28億2,400万円を計上いたします。

II 事業計画

1 駐車場事業

令和3年度の緊急事態宣言が明けた10月・11月の収入を基準とし、新型コロナウイルス感染症の影響を受けていない令和元年同月との対比を令和元年度実績に乗じた額を基本とし、駐車場一つ一つの利用傾向や周辺状況の変化等を加味するとともに、新型コロナウイルス感染症の影響を受けやすい繁華街等に立地する駐車場については、令和3年度実績を重視し、その影響も考慮して算出いたしました。

駐車場事業としましては、全体収益の回復傾向にあることと、新たな収入源であります交野市自転車駐車場（12場）の5,700万円をはじめ、くるっとパーク西大路駅北駐輪場の

1,400万円、新田辺駅東自転車駐車場の1,000万円、新規コインパーキング開設による増収分7,400万円を加え、令和4年度駐車場事業収益は26億3,700万円を計上します。

2 排水機事業

令和3年度に契約更新した京都市所管13機場の保守管理・監視業務の事業収益として、令和4年度も同額の1億3,500万円を計上します。

3 レンタル事業

京都市の「歩くまち・京都 総合交通戦略2021」の趣旨に賛同し、地域における利便性の向上や観光の活性化に向けた事業に取り組んでいます。

令和4年度のシェアサイクル及びレンタサイクルについては、社会的なニーズの高まりと需要の回復を見込み、コロナウイルスの影響を受けていない令和元年度実績を基に630万円を計上します。

4 CSR活動

公社は事業の継続において地域社会を尊重し、環境への配慮を念頭に活動することが大切であると考え、以下のとおり引き続き取り組んでいきます。

太陽光発電設備を利用した自然エネルギーの活用、電気自動車充電設備を設置した駐車スペース、K E S 環境マネジメントの実施など環境に配慮した企業活動を積極的に取り組んでいきます。

令和3年度においては、新型コロナウイルス感染症によりイベント等の開催を自粛していましたが、令和4年度につきましては社会状況を見ながら地域振興への協賛、社会貢献、緑化推進に取り組んでいきます。

本事業計画を実施することによる令和4年度期末の経常収益及び正味財産（純資産）は以下のとおり予定しています。

正味財産増減計算書

(単位 千円)

科目	(A)令和4年度 事業計画	(B)令和3年度 決算見込	差引 (A)-(B)
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①事業収益	2,779,566	2,295,300	484,266
②利息及び雑収益	45,084	117,397	▲72,313
[経常収益計]	2,824,650	2,412,697	411,953
経常費用			
①事業費及び管理費	2,702,768	2,425,517	277,251
②減価償却費	92,060	113,848	▲21,788
[経常費用計]	2,794,828	2,539,365	255,463
[当期経常増減額]	29,822	▲126,668	156,490
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	22,540	490	22,050
[当期経常外増減額]	▲22,540	▲490	▲22,050
[当期一般正味財産増減額]	7,282	▲127,158	134,440
[一般正味財産期首残高]	1,405,261	1,532,419	▲127,158
[一般正味財産期末残高]	1,412,543	1,405,261	7,282
II 指定正味財産増減の部			
[当期指定正味財産増減額]	0	0	0
[指定正味財産期首残高]	2,200	2,200	0
[指定正味財産期末残高]	2,200	2,200	0
III 正味財産期末残高	1,414,743	1,407,461	7,282